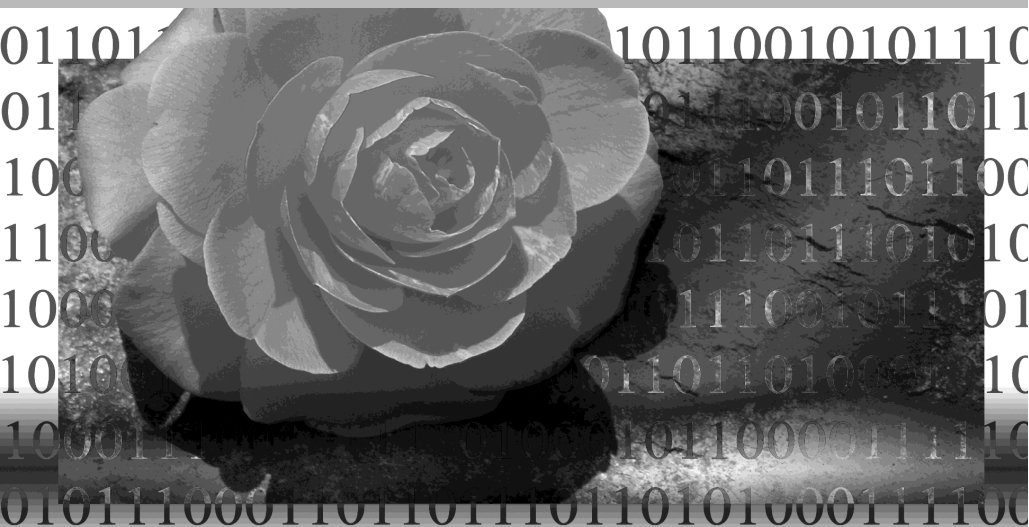
The essentials of imaging

www.minolta.com

DiMAGE Messenger 2.0

J 使用説明書

準備と基本操作

ファイルを表示・管理する

ディマージュメッセンジャー ファイルを閲覧・編集・保存する

その他

お買い上げありがとうございます。
DiMAGE Messenger 2.0（ディマージュメッセンジャー 2.0）は、JPEG、BMP、TIFF形式の画像を読み込んで、特定の部分に対してコメントや音声・別画像を付けることにより、画像を見せる側の意図を閲覧者に的確に伝えることを可能にしたソフトウェアです。
ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、末永く本製品をご愛用ください。

●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
●本製品を運用した結果については、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用になる前に

この使用説明書の表記について

◆本書は、お客様がお使いのパーソナルコンピュータにオペレーティングシステム（Windows®98SE/Me/2000 Professional/XP）やデバイスドライバなど必要なソフトウェアがすでにインストールされており、かつ正常に動作していることを前提に記述しています。

◆本書は、マウス操作を基本として説明しています。Windows®の2ボタンマウスについては「右きき用」に設定しているものとして説明しています。
またWindows®の2ボタンマウスにおいて「クリックします」「ダブルクリックします」と表記している場合、それはマウスの「左ボタン」をクリックまたはダブルクリックする操作を表します。「ドラッグします」と表記してある場合は、「マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす」操作を示します。

用語説明

本書で使用している特殊な用語の意味は以下のとおりです。

親画像：アノテーション機能において、コメント、音声、画像が付けられる元画像（JPEG形式／BMP形式※／TIFF形式）
※DiMAGE Messenger 2.0ではJPEG形式／BMP形式／TIFF形式の画像がアノテーション可能です。

アノテーション画像：アノテーション機能において親画像に関連付けられた画像（JPEG形式、BMP形式、TIFF形式）

アノテーション音声：アノテーション機能において親画像に関連付けられた音声（WAVE形式）

コンテンツ：親画像に関連付けられるコメント、音声、画像の総称

ディマージュメッセンジャーファイル：拡張子が*.mdmのファイル。親画像とそれに関連付けたコンテンツを閲覧するためのファイルで、アノテーションウィンドウで開くことができます。

コンテンツエリア：親画像上に描くコンテンツを関連付けるための領域。矩形、角丸四角形、楕円、フリーハンドの4種類から選択できます。

Windows®XP/2000 Professionalをお使いの場合

◆本ソフトウェアは、Windows®XPでは管理者（Administrator）権限の環境下で、Windows®2000 Professionalでは、管理者（Administrator）権限、または標準ユーザー（PowerUsers）権限の環境下でご使用ください。権限ユーザー（Users、Guests）権限の環境下では、本ソフトウェアは正しく動作しません。

目次

準備と基本操作

ソフトウェアのインストールおよび起動・終了について説明しています。

ファイルを表示・管理する

ファイルの表示・管理などはメインウィンドウで行ないます。ここではメインウィンドウで使用できる各機能の操作について説明しています。

ディマージュメッセンジャーファイルを閲覧・編集・保存する

ディマージュメッセンジャーファイルの閲覧・作成・編集・保存などはアノテーションウィンドウで行ないます。ここではアノテーションウィンドウで使用できる各機能の操作について説明しています。

その他

本書は、パーソナルコンピュータの基本的な操作方法、およびWindows®のオペレーティングシステムの使い方については説明しておりません。これらについては、パソコン付属のマニュアル等をご参照ください。

必要なシステム環境

このソフトウェアをお使いいただくには、以下のシステム環境が必要です。

コンピュータ ※1	IBM-PC/AT互換機
CPU ※2	Intel Pentium-133MHz以上
OS ※3	Windows XP（Professional, Home Edition）、 Windows 2000 Professional、 Windows Me、Windows98 Second Edition
必要メモリ	128MB以上の実装メモリ Windows XPの場合は256MB以上の実装メモリ
ハードディスク 空き容量	インストール後に200MB以上
モニター	800×600ドット以上 （1024×768ドット以上を推奨） True Color（24ビットカラー）
その他 ※4	CD-ROMドライブ装備（インストール時に必要）

※1 ご使用のOS環境にて、パソコンメーカーに動作保証されていること。
※2 お使いのOS環境を満たしていることを前提としています。
※3 各OSの読み込み可能な画像サイズは以下のとおりです。
Windows®XP/2000 Professional：3840×3840ピクセル以下
Windows®Me/98SE：2270×1700ピクセル（4メガピクセルの画像相当）以下
（Windows®Me/98SEをお使いの場合でも、2270×1700ピクセル以上3840×3840ピクセル以下の画像を読み込むことが可能ですが、作業中、画像の一部が表示されなくなることがあります。）
※4 音声アノテーションを使用して音声を録音・再生する場合は、ご使用のOS環境にてマイク・スピーカーが正常に動作していることが必要です。

試用版とライセンスキーについて

ダウンロードしたDiMAGE Messenger 2.0（試用版）をインストール後、14日間の試用期間中はソフトウェアのすべての機能をご使用いただけます。試用期間が終了すると、フリー版となり、操作できる機能が制限されます。14日間の試用期間中または試用期間終了後、ライセンスキー（制限解除キー）をご購入いただき、下記の方法で入力することにより、正規版としてすべての機能をご使用いただけます。

ライセンスキー（制限解除キー）の購入

1. DiMAGE Messengerのホームページ（http://www.dimagemessenger.com）にアクセスします。

- 14日間の試用期間中は、アノテーションウィンドウ（P.29)の「Info LinK」をクリックすればDiMAGE Messengerのホームページにアクセスすることができます。

2. 地域を選択後、「ダウンロード・ご注文」をクリックし、ライセンスキー購入の画面を表示します。

- ライセンスキーの購入手順については画面の指示に従ってください。

ライセンスキーの入力

1. メインウィンドウ（P.10）から[ヘルプ] - [ライセンス]を選択します。

- 「ライセンス」ダイアログが表示されます。

2. 「ユーザー名」（任意）と購入した「ライセンスキー」を入力し、「OK」をクリックします。

- 誤ったライセンスキーを入力した場合、「ライセンスキーが無効です」というエラーメッセージが表示されますので、ライセンスキーを確認後、再度入力してください。

3. DiMAGE Messenger 2.0正規版として、すべての機能をお使いいただけるようになります。

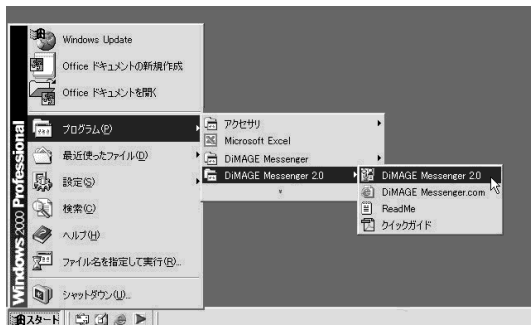
（→ 次ページに続く）

フリー版で操作できる機能

インストール後、14日間の試用期間が終了すると、フリー版となり、操作できる機能が以下に制限されます。（ディマージュメッセンジャーファイルの作成・編集などの操作ができなくなります。）

・対応ファイル（P.87）の一覧表示
・既存のディマージュメッセンジャーファイルの閲覧・印刷
・インデックス印刷
・コメント検索
・カラーマッチング
・ヘルプ表示
・バージョン表示
・ライセンスキー入力
・ Info Link

ソフトウェアの起動

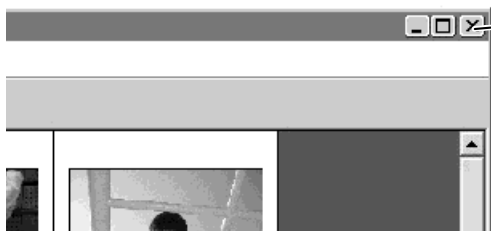
DiMAGE Messenger 2.0を起動します。

1. パソコンの電源を入れ、Windows® を起動します。

2. [スタート]-[プログラム(P)](Windows® XPでは[すべてのプログラム(P)])-[DiMAGE Messenger 2.0]-[DiMAGE Messenger 2.0]を選択します。

- **またはDiMAGE Messenger 2.0のアイコンをダブルクリックします。**

● DiMAGE Messenger 2.0のメインウィンドウが表示されます。

ソフトウェアの終了

DiMAGE Messenger 2.0を終了します。

1. 画面右上の[×]ボタンをクリックします。

- **またはメインウィンドウから[ファイル]-[終了]を選択します。**

● メインウィンドウ以外の画面からソフトウェアを終了する方法は以下のとおりです。
アノテーションウィンドウ：[ファイル]-[アプリケーションの終了]を選択、または「終了」をクリック
ビューアーウィンドウ　：[ファイル]-[アプリケーションの終了]を選択

メインウィンドウについて

メインウィンドウとは、DiMAGE Messenger 2.0の起動後、最初に表示される画面のことです。ここでは、メインウィンドウの各部の名称と機能、選択できるメニューとツールについて説明しています。

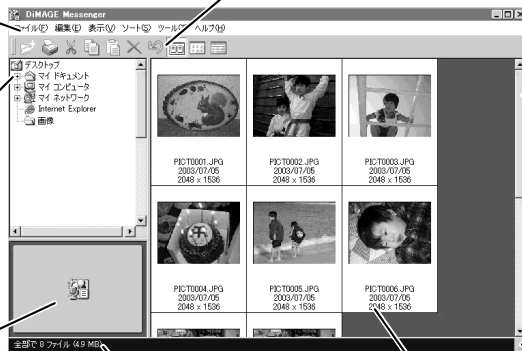
ツールバー
メニュー内の主な機能をボタン操作で実行します。ボタン上にカーソルを置くと機能名が表示されます。

メニューバー
クリックすると、それぞれのメニューのプルダウンリストを表示します。

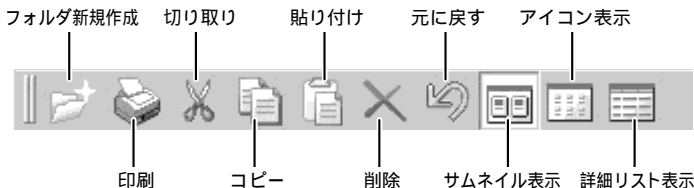
画像数が多い場合、上下にスクロールできます。

フォルダツリー
ディスクドライブ内のフォルダの階層を表示します。フォルダ名を選択すると、フォルダ内の画像を画像ファイル表示領域に表示します。

枠をドラッグするとウィンドウのサイズを変更できます。

アノテーションウィンドウを起動します。

ステータスバー
ファイル総数および総サイズを表示します。

画像ファイル表示領域
フォルダツリーから選択したフォルダ内のファイルを一覧表示します。

ツールバーの説明

メニューとツール

メインウィンドウでは、次のような操作を実行できます。

●ファイル

メニュー／対応ツールボタン	説　明
フォルダ新規作成	新規のフォルダを作成します。→P.19
アノテーション表示	ファイル一覧から選択した画像をアノテーションウィンドウで表示します。→P.35
印刷	一覧表示されている画像をインデックス印刷します。→P.26
終了	DiMAGE Messenger 2.0を終了します。→P.9

●編集

メニュー／対応ツールボタン	説　明
元に戻す	直前に実行したテキストの編集操作を取り消して、前の状態に戻します。
切り取り ※	選択したファイルやフォルダを「コピー」または「貼り付け」のために切り取ります。また、ファイル名の編集で文字列の切り取りにも使用できます。選択したファイルに付属するサムネイルファイル（*.THM）や音声ファイル（*.WAV）がある場合、そのファイルも切り取ります。
コピー ※	選択したファイルおよびフォルダをコピーします。また、ファイル名の編集で文字列のコピーにも使用できます。選択したファイルに付属するサムネイルファイル（*.THM）や音声ファイル（*.WAV）がある場合、そのファイルもコピーします。→P.20

（→ 次ページに続く）

●編集

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
貼り付け	コピーまたは切り取ったファイルやフォルダを貼り付けます。また、ファイル名の編集で文字列の貼り付けにも使用できます。→P.20
削除 ※	選択したファイルおよびフォルダを削除します。選択したファイルに付属するサムネイルファイル（*.THM）や音声ファイル（*.WAV）がある場合、そのファイルも削除します。→P.23
名前の変更 ※	選択したファイルやフォルダの名前を変更します。選択したファイルに付属するサムネイルファイル（*.THM）や音声ファイル（*.WAV）がある場合、そのファイルの名前も変更します。→P.21
全て選択	画像ファイル表示領域に表示されているすべてのファイルを選択します。
コメント検索	一覧表示されたディマージュメッセンジャーファイル内に含まれているコメントの文字列、日付、ユーザー名を文字列検索します。→P.28

※ 選択したファイルが動画（MOV）の場合、それに付属するサムネイルファイルの移動、名前の変更、切り取り、コピー、削除は行われません。

●表示

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
ツールバー／ステータスバー	チェックを付けた表示項目がメインウィンドウに表示されます。
サムネイル表示 アイコン表示 詳細リスト表示	選択した方式でファイルの一覧を表示します。→P.17 サムネイル表示　：サムネイルを使用してファイルを一覧表示します。 アイコン表示　：アイコンを使用してファイルを一覧表示します。 詳細リスト表示　：詳細情報（更新日付、ファイルサイズ、ファイルの種類）付きでファイルを一覧表示します。
サムネイルサイズ設定	サムネイルで表示される画像のサイズを設定します。→P.17
画像情報表示	画像の下に日付、画像サイズ（横×縦）を表示します。
最新の情報に更新	フォルダツリー、画像ファイル表示領域のファイル一覧を最新の情報に更新します。→P.18

（→ 次ページに続く）

メインウィンドウについて

●ソート

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
日付順／名前順／拡張子順／属性順	選択した項目の順番でファイルの整列を行います。→P.18
昇順／降順	整列したファイルの昇順／降順を切り替えます。→P.18

●ツール

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
一括リネーム	ファイル一覧から選択したファイルの名前を一括して変換します。→P.22
一括リサイズ	ファイル一覧から選択した画像のサイズを一括して変更します。→P.24

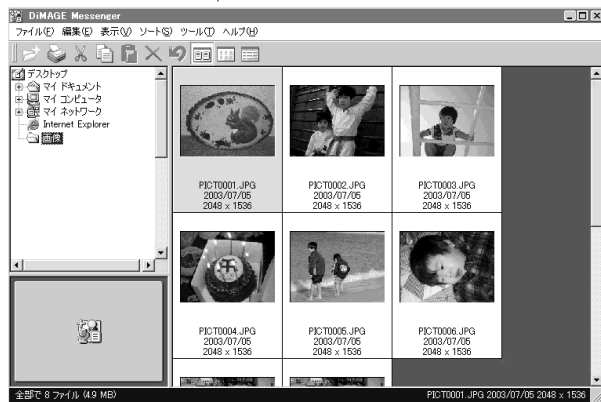
●ヘルプ

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
ヘルプ	ヘルプファイルを表示します。
バージョン情報	ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
ライセンス	ユーザー名の入力およびライセンスキーの入力ダイアログを表示します。→P.7、52

ファイル一覧を表示する

フォルダ内のファイルを画像ファイル表示領域に一覧表示します。

1. フォルダツリーから、画像ファイルのあるフォルダをクリックします。

- 左の画面は、デスクトップに保存されているフォルダを選択する場合の表示例です。

- フォルダ内のファイルが、画像ファイル表示領域に一覧表示されます。

(→ 次ページに続く)

ファイル一覧を表示する

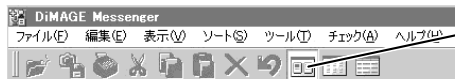
画像ファイル表示領域に表示されるアイコンとファイルの種類は以下のとおりです。

アイコン	ファイルの種類（ファイル形式） 説明
	ディマージュメッセンジャーファイル（MDM） ファイルをダブルクリックすると、アノテーションウィンドウに親画像と関連付けたコンテンツが表示されます。(P.35)
	アフレコ付き画像ファイル（JPEG、TIFF） アイコンをクリックするとアフレコ音声が再生されます。 ファイルをダブルクリックすると、アノテーションウィンドウに親画像として表示されます。(P.35)
表示なし	**上記以外の画像ファイル（JPEG、TIFF、BMP）** ファイルをダブルクリックすると、アノテーションウィンドウに親画像として表示されます。(P.35)
表示なし	**動画ファイル（MOV）** ファイルをダブルクリックすると、システムで関連付けられているアプリケーションによって再生されます。
	音声ファイル（WAV） ファイルをダブルクリックすると、音声が再生されます。

※対応ファイルについては、「対応ファイルの一覧」（P.87）をご参照ください。

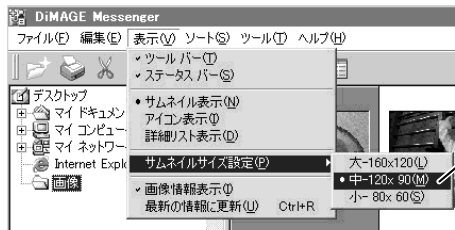
ファイル一覧の表示を変更する

画像ファイル表示領域のファイル一覧の表示方法を変更します。また、フォルダツリーとファイル一覧の情報を更新することもできます。

サムネイル表示

1. サムネイル表示ボタンをクリックします。

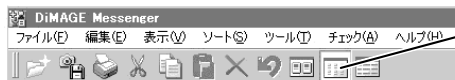
- **または[表示]-[サムネイル表示]を選択します。**

● ファイル一覧がサムネイル表示されます。

サムネイルサイズの変更

1. [表示]-[サムネイルサイズの設定]を選択します。

2. リストボックスから、サムネイルのサイズを選択します。

● 選択したサイズでファイル一覧が表示されます。

アイコン表示

1. アイコン表示ボタンをクリックします。

- **または[表示]-[アイコン表示]を選択します。**

● ファイル一覧がアイコン表示されます。

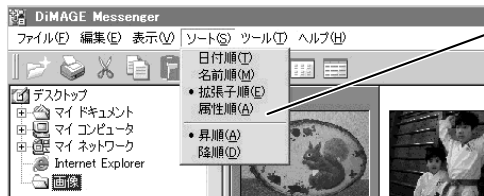
(→ 次ページに続く)

詳細リスト表示

1.詳細リスト表示ボタンをクリックします。

・または[表示]-[詳細リスト表示]を選択します。

●ファイル一覧がリスト表示されます。

並び順の変更

1.[ソート]メニューの選択肢から、並び順を選択します。

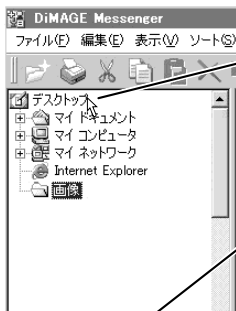
●指定した並び順でファイル一覧が表示されます。

ファイル一覧／フォルダツリーの更新

1.[表示]-[最新の情報に更新]を選択します。

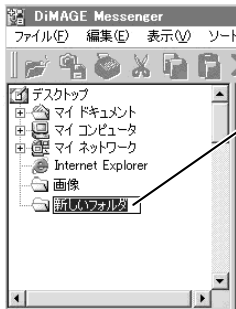
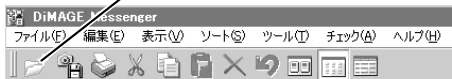
●ファイル一覧およびフォルダツリーの情報が更新されます。

フォルダを作成する

フォルダツリーに新しいフォルダを作成します。

1. フォルダツリーから、新しいフォルダを作る場所を選択します。

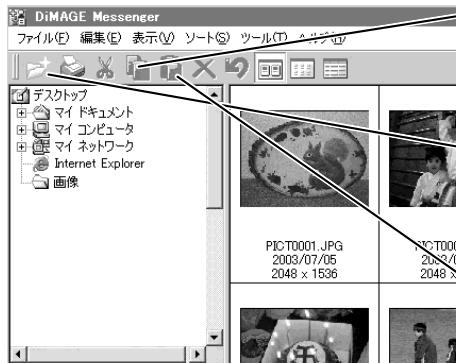
2. フォルダ新規作成ボタンをクリックします。

- **または[ファイル]-[フォルダ新規作成]を選択します。**

●選択した場所に、新しいフォルダが作成されます。

3. 必要に応じて、フォルダツリー上でフォルダ名を入力します。

ファイルをコピーする

画像ファイル表示領域に表示しているファイルを別のフォルダにコピーします。

1.ファイル一覧から、コピーするファイルを選択します。

2.コピーボタンをクリックします。

・**または[編集]-[コピー]を選択します。**

3.コピー先のフォルダをフォルダツリーから選択します。

●新規のフォルダを作成する場合、新規フォルダ作成ボタンをクリックします。「新しいフォルダ」が作成されますので、必要に応じてフォルダ名を入力します。

4.貼り付けボタンをクリックします。

・**または[編集]-[貼り付け]を選択します。**

●指定したフォルダにファイルがコピーされます。選択したファイルに付属するサムネイルファイルや音声ファイルがある場合、そのファイルもコピーされます。ただし、動画ファイルを選択した場合、付属するファイルはコピーされません。

ファイル名を変更する

画像ファイル表示領域に表示しているファイルの名前を変更します。

1.ファイル一覧から、名前を変更したいファイルを選択します。

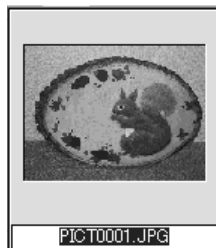
2.ファイル名をクリックします。

・または[編集]-[名前の変更]を選択します。

●ファイル一覧のファイル名が反転表示され、変更可能になります。

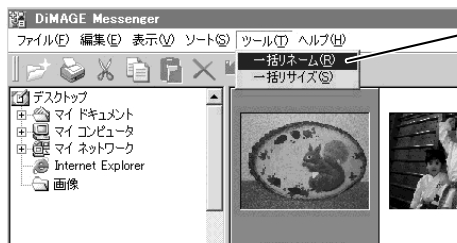
3.新しいファイル名を入力します。

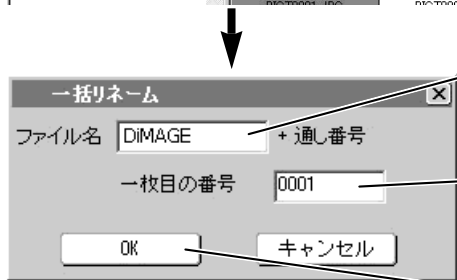
●拡張子は自動的に付けられますので変更しないでください。

●変更したファイルに付属するサムネイルファイルや音声ファイルがある場合、それらのファイル名も変更されます。ただし、動画ファイルを選択した場合は、付属するファイル名は変更されません。

ファイル名を一括で変更する（一括リネーム）

複数のファイルの名前をまとめて変更します。ファイル名は、「共通のファイル名＋通し番号」となり、拡張子は自動的に付けられます。
デジタルカメラで撮影したファイルに固有の名前を付けて、ファイル管理したい場合などに便利です。

1. ファイル一覧から、名前を一括変更したいファイルを選択します。

- 複数の画像を選択する場合は、＜*Ctrl*＞キーを押したまま画像をクリックします。
- 一覧表示されている全ての画像を選択する場合は、[編集]-[全て選択]を選択します。

2. [ツール]-[一括リネーム]を選択します。

- 「一括リネーム」ダイアログが表示されます。

3. 共通の「ファイル名」を入力します。

- 全角5文字以内、または半角10文字以内で入力してください。

4. 通し番号の「1枚目の番号」を入力します。

- 半角数字を使用して5桁以内で入力してください。

5. [OK]をクリックします。

- 選択したファイルの名前が変更されます。

例）

5個のJPEGファイルを上記の設定で「一括リネーム」すると、ファイル名は、DiMAGE0001.JPG, DiMAGE0002.JPG, DiMAGE0003.JPG, DiMAGE0004.JPG, DiMAGE0005.JPGとなります。

ファイルを削除する

画像ファイル表示領域に表示しているファイルを削除します。

1.ファイル一覧から、削除するファイルを選択します。

2.削除ボタンをクリックします。

- **または[編集]-[削除]を選択します。**

●確認ダイアログが表示されます。

3.「はい」をクリックします。

●指定したファイルが削除されます。選択したファイルに付属するサムネイルファイルや音声ファイルがある場合、そのファイルも削除されます。ただし、動画ファイルを選択した場合は、付属するファイルは削除されません。

ファイルを表示・管理する

画像サイズを一括変更して保存する

画像ファイル表示領域で選択した画像のサイズを、縦横比を固定して一括変更し、画像ファイルを一括して保存します。

1.ファイル一覧から、サイズを変更したい画像をクリックして選択します。

- 複数の画像を選択する場合は、＜*Ctrl*＞キーを押したまま画像をクリックします。
- 一覧表示されている全ての画像を選択する場合は、[編集]-[全て選択]を選択します。
- 画像（JPEG、BMP、TIFF）以外のファイルが選択されている場合は、手順2で[一括リサイズ]を選択することができません。

2.[ツール]-[一括リサイズ]を選択します。

- 「画像リサイズ」ダイアログが表示されます。

3.サイズ変更後の画像の幅または高さを、画素数（ピクセル）単位で入力します。

- 一方を入力すると、もう一方も自動的に変わります。縦横の比率を変更することはできません。
- 必要に応じて、画素の補間方法も選択します。

バイリニア	：標準的な画質が得られます。
バイキュービック	：最も精度の高い画素補間方式です。色調の移行が最も滑らかになりますが、保存のときの処理速度は遅くなります。

- 設定できる画像サイズは最小8×8ピクセル最大3840×3840ピクセルです。

4.「OK」をクリックします。

- 「フォルダ選択」ダイアログが表示されます。

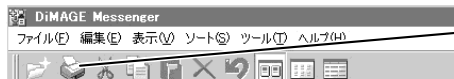
5.保存場所を指定します。

●新しくフォルダを作成する場合は新規フォルダ作成ボタンをクリックしてください。

6.「選択」をクリックします。

●設定（画像サイズ、ファイルの種類、ファイル名など）に従って、画像ファイルが保存されます。

インデックス印刷する

画像ファイル表示領域に一覧表示されているファイルを、サムネイル形式で印刷します。

印刷プレビュー表示領域

1.印刷ボタンをクリックします。

・**または[ファイル]-[印刷]を選択します。**

●「印刷プレビュー」ダイアログが表示されます。

2.「行×列」を設定します。

●行と列に1～9までの数値を入力し、サムネイルのレイアウトを変更することができます。レイアウトは、印刷プレビュー表示領域で確認できます。

3.「ページ番号」を印刷するか、しないかを選択します。

●「あり」を選択すると、ページ番号が用紙の下段中央に印刷されます。

4.「画像情報」を印刷するか、しないかを選択します。

●「あり」を選択すると、日付とサイズが各画像の下に印刷されます。

5.必要に応じて「フォント」をクリックし、ファイル名と画像情報の印刷に使用するフォントを指定します。

- 「フォント」ダイアログが表示され、フォント名、スタイル、サイズなどを設定できます。
- 設定が終了したら、「OK」をクリックします。

6.必要に応じて「プリンタ設定」をクリックし、印刷設定を行います。

- 「プリンタの設定」ダイアログが表示され、プリンタ、用紙、印刷の向きなどを設定できます。
- 設定が終了したら、「OK」をクリックします。

7.「印刷」をクリックします。

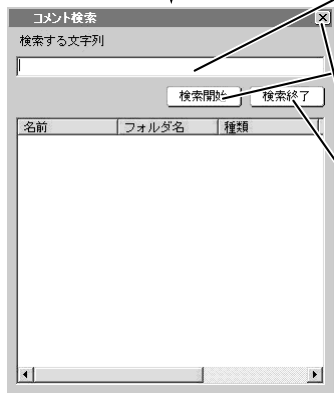
- 「印刷」ダイアログが表示され、プリンタ、印刷範囲、印刷部数などを設定できます。
- 印刷を中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

8.「OK」をクリックします。

- 印刷が開始されます。

メインウィンドウでコメントを検索する

ディマージュメッセンジャーファイル内に含まれているコメントの文字列とアノテーションした日付、ユーザー名を文字列検索します。
該当する文字列が検索された場合、その文字列を含むファイルが一覧表示されます。

1.[編集]-[コメント検索]を選択します。
●「コメント検索」ダイアログが表示されます。

2.「検索する文字列」に検索する文字列を入力します。

3.「検索開始」をクリックします。
●該当する文字列が検索された場合、その文字列を含むディマージュメッセンジャーファイルが一覧表示されます。
●該当する文字列が検索されなかった場合、「検索を終了しましたが何も見つかりませんでした。」というメッセージが表示されます。

4.検索の途中で検索を中止する場合は、「検索終了」をクリックします。

5.コメント検索を終了する場合は、「コメント検索」ダイアログ右上の[×]ボタンをクリックします。

アノテーションウィンドウについて

アノテーションウィンドウとは、主にディマージュメッセンジャーファイル（親画像とコンテンツ）の作成・閲覧・編集などに使用する画面のことです。ここでは、アノテーションウィンドウの各部の名称と機能、選択できるメニューとツールについて説明しています。

メニューバー
クリックすると、それぞれのメニューのプルダウンリストを表示します。

ツールバー
メニュー内の主な機能をボタン操作で実行します。ボタン上にカーソルを置くと機能名が表示されます。

コンテンツチェックボックス
追加、編集、削除するコンテンツを指定します。

タイトル入力エリア
タイトルを入力します。

親画像表示エリア
画像が表示され、マウスのドラッグでコンテンツエリアを指定できます。

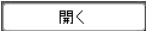
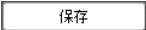
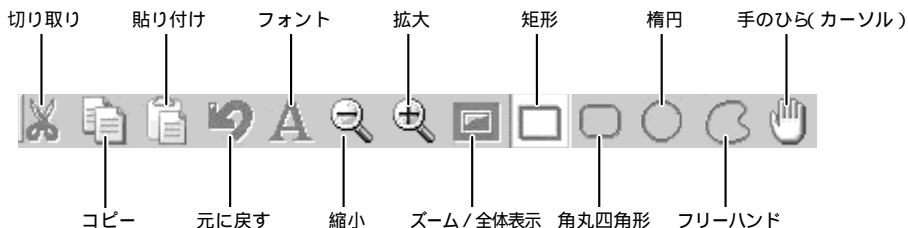
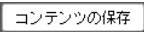
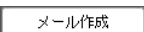
コンテンツ作成エリア
コンテンツを作成します。

ステータスバー
親画像表示エリアに表示している画像の情報を表示します。（試用版をご使用の場合、右側に残り使用可能日数が表示されます。）

左右にドラッグすると、ウィンドウの比率を変更できます。

コンテンツ表示エリア
作成したコンテンツが一覧表示されます。特定のコンテンツに対して付属のコンテンツが存在する場合は、ツリー表示になります。

枠を左右にドラッグするとウィンドウのサイズを変更できます。

（→ 次ページに続く）

ツールバーの説明

メニューとツール

アノテーションウィンドウでは、次のような操作を実行できます。

●ファイル

メニュー／対応ツールボタン		説　明
開く	開く	画像ファイル（JPEG、BMP、TIFF形式）を親画像表示エリアに表示します。 ディマージュメッセンジャーファイルを表示します。 →P.36、41
親画像を追加		親画像表示エリアに既に画像が表示されている場合に、右側に画像をもう1枚追加して2枚表示します。→P.46
保存	保存	アノテーションウィンドウに表示している画像をディマージュメッセンジャーファイル（*.mdm）形式で保存します。既にファイルがある場合は、上書き保存になります。→P.62
名前を付けて保存		アノテーションウィンドウに表示している画像をディマージュメッセンジャーファイル（*.mdm）形式で新規保存します。→P.61
閉じる		アノテーションウィンドウを閉じます。

メニュー／対応ツールボタン		説　　明
コンテンツの保存	コンテンツの保存	コンテンツをHTML形式で保存します。→P.60
プリント画面の保存	プリント画面の保存	印刷プレビューをEMF形式で保存します。→P.67
メール作成	メール作成	ディマージュメッセンジャーファイルをメールに添付して送信できます。メールの作成・送信には、MAPI対応メールソフト（Outlook Expressなど）が必要です。→P.68
カラーマッチング設定		カラーマッチング処理の設定をします。→P.70
印刷	印刷	アノテーションウィンドウに表示している画像を印刷します。→P.63
アプリケーションの終了	終了	DiMAGE Messenger 2.0を終了します。→P.9

●編集

メニュー／対応ツールボタン		説　　明
元に戻す		直前に実行した操作を取り消して、その前の状態に戻します。
切り取り		選択したテキストやファイルを、「コピー」または「貼り付け」のために切り取ります。
コピー		親画像表示エリアに表示している画像（全体またはコンテンツエリア内）をクリップボードにコピーします。 コンテンツ作成エリア、またはコンテンツ表示領域で選択しているテキストをコピーします。
貼り付け		クリップボードのテキストを貼り付けます。 画像を「切り取り」または「コピー」して親画像表示エリアに貼り付けた場合は、画像が読み込まれます。
コメント検索		コンテンツ内に含まれているコメントの文字列、日付、ユーザー名を文字列検索します。→P.75

（→ 次ページに続く）

●表示

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
拡大	指定したコンテンツエリアを中心に画像を10%拡大します。→P.43
縮小	指定したコンテンツエリアを中心に画像を10%縮小します。→P.43
ズーム	チェックが付いている場合は、指定したコンテンツエリアを中心に画像を拡大します。 チェックが付いていない場合は、画像を全体表示します。 →P.44
回転	左90°回転　：画像を左に90度回転します。 右90°回転　：画像を右に90度回転します。→P.45
ツールバー／ステータスバー	アノテーションウィンドウのレイアウトを変更できます。チェックを付けた項目がアノテーションウィンドウに表示されます。
コンテンツエリア	矩形　：コンテンツエリアを矩形で描くことができます。 角丸四角形　：コンテンツエリアを角丸四角形で描くことができます。 楕円　：コンテンツエリアを楕円で描くことができます。 フリーハンド　：コンテンツエリアをフリーハンドで描くことができます。→P.47 手のひらカーソル：画像をドラッグして、表示位置を移動できます。おもに、画像を拡大したときに使用します。→P.38

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
作成日とユーザー名	アノテーションを作成した日付やユーザー名をコンテンツ表示エリアに表示します。→P.52
フォント　A	コンテンツ表示エリアで選択したテキストのフォント設定を変更できます。→P.49

●コンテンツ

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
音声・画像再生	選択しているアノテーション音声、アノテーション画像を再生します。→P.56、57
追加　追加	コンテンツをコンテンツ表示エリアの一覧に追加します。→P.48、50、51
削除　削除	コンテンツチェックボックスにチェックの付いているコンテンツを削除します。→P.59

●ヘルプ

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
ヘルプ	ヘルプファイルを表示します。
バージョン情報	ソフトウェアバージョン情報を表示します。

(→ 次ページに続く)

●アノテーションウィンドウ内のボタンからのみ操作できるツール

対応ツールボタン		説　　明
クリア	クリア	以下の操作を一度に実行します。 ● 選択したコンテンツエリアの消去 ● コンテンツ作成エリアで入力したテキストの消去 ● コンテンツ作成エリアで選択した音声・画像ファイルの解除 ● コンテンツ表示エリアで選択したコンテンツの解除
録音	録音	音声を録音して、音声ファイル（*.WAV）を作成します。 →P.54
再生	再生	音声ファイル（*.WAV）を再生します。→P.50
Info Link	Info Link	WebブラウザをM起動してDiMAGE Messengerのホームページを表示します。DiMAGE Messengerの最新情報や使用例の閲覧、試用版のダウンロードや試用版解除キーの購入等のサービスをご利用になれます。

画像をアノテーションウィンドウで表示する

メインウィンドウのファイル一覧から選択したファイル（画像ファイルまたはディマージュメッセンジャーファイル）をアノテーションウィンドウで表示します。

1. メインウィンドウのファイル一覧から、アノテーション表示したいファイル（画像ファイルまたはディマージュメッセンジャーファイル）を選択します。

2. アノテーション表示ボタンをクリックします。

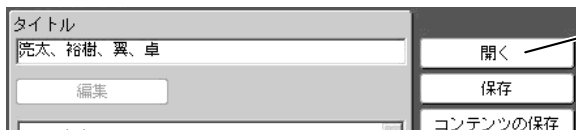
- **または[ファイル]-[アノテーション表示]を選択、アノテーション表示ボタンにファイルをドラッグ&ドロップ、ファイルをダブルクリックのいずれかを実行します。**

●選択した画像が画像ファイルの場合、親画像表示エリアに画像が表示されます。ディマージュメッセンジャーファイルの場合、親画像が親画像表示エリアに、コンテンツがコンテンツ表示エリアに、ファイルを保存した時の状態で表示されます。

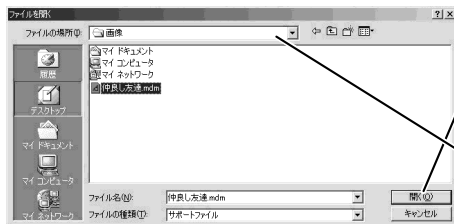
●一辺が3840ピクセルを越える画像の場合、「サポート範囲外の画像サイズです」というエラーメッセージが表示され、画像は表示されません。

●アノテーションウィンドウの操作については、「アノテーションウィンドウについて」（P.29）をご参照ください。

ディマージュメッセンジャーファイルを開いて内容を確認する

保存したディマージュメッセンジャーファイルを開いて、作成した親画像やコンテンツ（コメント、アノテーション画像、アノテーション音声）を確認します。

1.「開く」をクリックします。

・または[ファイル]-[開く]を選択します。

●「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

2.確認したいディマージュメッセンジャーファイルを選択し、「開く」をクリックします。

・またはディマージュメッセンジャーファイルをダブルクリックします。

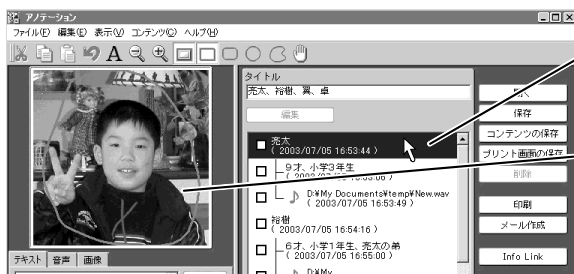
●確認したいファイルが見つからない場合は、「ファイルの場所」でフォルダを指定し、確認したいディマージュメッセンジャーファイルを表示させます。

3. コンテンツ表示エリアのコンテンツにカーソルを合わせます。

- 親画像の上に対応するコンテンツエリア（赤い枠線）が表示されます。

4. 親画像表示エリアの任意の位置にカーソルを合わせます。

- コンテンツエリアにカーソルが合うと、コンテンツエリアが表示され、そのコンテンツエリアに対応するコンテンツが選択されます。

（→ 次ページに続く）

5.コンテンツエリアの表示を拡大する場合は、コンテンツ表示エリアでコンテンツをクリックします。

- 選択したコンテンツに対応するコンテンツエリアが画像表示エリア全体に表示されます。
- 画像を全体表示に戻す場合は、選択したコンテンツを再度クリックします。

拡大表示する位置を調整する

画像表示エリアで拡大表示される位置を移動することができます。
手のひらカーソルボタンをクリック、または[表示]-[コンテンツエリア]-[手のひらカーソル]を選択します。
画像表示エリアにカーソルを合わせ、手のひらの形をしたカーソルに変わったら、画像をドラッグします。ドラッグした方向と距離に応じて表示される範囲が移動します。

ディマージュメッセンジャーファイルを新規作成する

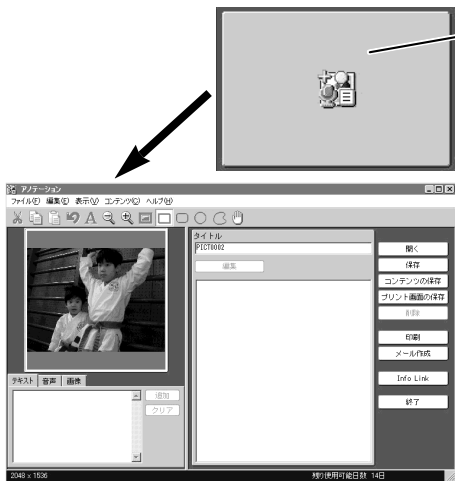
DiMAGE Messenger 2.0では、以下の形式の画像を親画像として読み込むことができます。

- JPEG画像　（Exif2.1、2.2、JFIF24ビット）
- BMP画像　（24ビット）
- TIFF画像　（Exif2.1、2.2、非圧縮 RGB24ビット）

ディマージュメッセンジャーファイルを作成するには、まず親画像となる画像ファイルを指定し、アノテーションウィンドウの親画像表示エリアに表示します。
その後、親画像を加工・追加、コンテンツを編集するなどして、ディマージュメッセンジャーファイルを保存します。

メインウィンドウから親画像を選択する

画像ファイル表示領域のファイル一覧から親画像を選択します。

1.メインウィンドウのファイル一覧から、親画像に指定したい画像ファイルを選択します。

2.アノテーション表示ボタンをクリックします。

・**または[ファイル]-[アノテーション表示]を選択、アノテーション表示ボタンにファイルをドラッグ&ドロップ、ファイルをダブルクリックのいずれかを実行します。**

- 選択した画像がアノテーションウィンドウの親画像表示エリアに表示されます。
- 一辺が3840ピクセルを越える画像の場合、「サポート範囲外の画像サイズです」というエラーメッセージが表示され、画像は表示されません。

（→ 次ページに続く）

3.必要に応じてタイトル入力エリアにタイトルを入力します。

● 入力できるタイトル文字数は、最大64文字です。

4.親画像やコンテンツを加工・追加・編集するなど目的の操作を実行して、ディマージュメッセンジャーファイルを保存します。

● それぞれの操作方法については、P.43-62の各手順をご参照ください。

タイトルについて

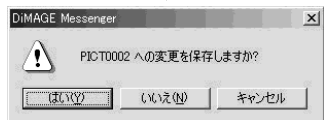
新たに画像を読み込むと、その画像のファイル名（拡張子を除いた部分）が[タイトル]入力エリアに表示されます。クリップボード経由で貼り付けられた場合は「新規」と表示されます。

アノテーションウィンドウから親画像を選択する

既にアノテーションウィンドウを開いている場合、アノテーションウィンドウで親画像を選択することができます。
この場合、既にアノテーションウィンドウに開かれているディマージュメッセンジャーファイルを保存する必要があります。

1.「開く」をクリックします。

- **または[ファイル]-[開く]を選択します。**

●「確認」ダイアログが表示されます。

2.ファイルを保存する場合は「はい」をクリックします。

●「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

3.「保存」をクリックし、既に開かれていたディマージュメッセンジャーファイルを保存します。

●必要に応じてファイルの場所とファイル名を指定してください。

●「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

ディマージュメッセンジャー ファイルを閲覧・編集・保存する

(→ 次ページに続く)

4.画像ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

- [ファイルの場所]でフォルダを選択し、表示されたリストから画像ファイルを選択します。
- 画像が読み込まれ、親画像表示エリアに画像全体が収まるサイズで表示されます。

5. メインウィンドウから親画像を選択する の手順3（P.40）と同様に、必要に応じてタイトルを入力します。

6.親画像やコンテンツを加工・追加・編集するなど目的の操作を実行して、ディマージュメッセンジャーファイルを保存します。

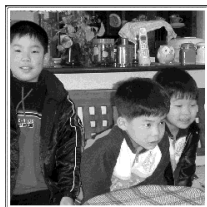
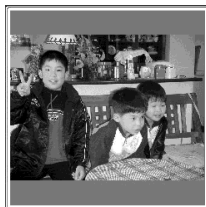
- それぞれの操作方法については、P.43-62の各手順をご参照ください。

クリップボードからの貼り付け

他のアプリケーションからコピー&ペースト機能で画像を読み込むことができます。
まず、元となる画像の必要な部分を選択し、カットまたはコピー機能でクリップボードに保存します。
次に、DiMAGE Messenger 2.0のウィンドウをアクティブにして、メニューから[編集]-[貼り付け]を選択します。親画像表示エリアにクリップボードの画像が貼り付けられ（読み込まれ）ます。

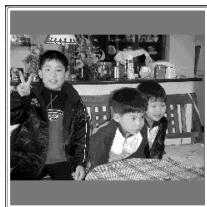
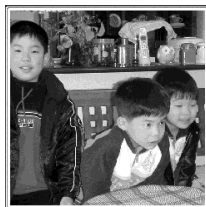
親画像を拡大・縮小・回転する

親画像表示エリアに表示されている画像を拡大・縮小・回転します。

画像を拡大する

1.拡大ボタンをクリックします。

・または[表示]-[拡大]を選択します。

- ●指定したコンテンツエリアを中心に画像が10%拡大されて表示されます。
- ●コンテンツエリアが指定されていない場合は、画像の中心が拡大時の中心になります。
- ●選択（クリック）するたびに、画像が拡大されます。画像の表示サイズは最大200%です。

画像を縮小する

1.縮小ボタンをクリックします。

・または[表示]-[縮小]を選択します。

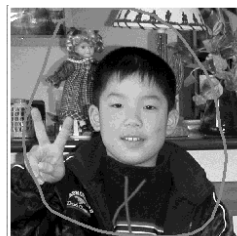
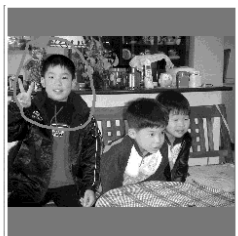
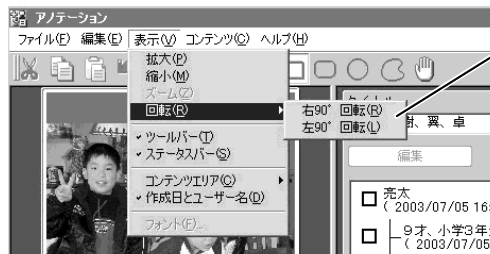
- ●指定したコンテンツエリアを中心に画像が10%縮小されて表示されます。
- ●コンテンツエリアが指定されていない場合は、画像の中心が縮小時の中心になります。
- ●選択(クリック)するたびに、画像が縮小されます。画像の表示サイズは90%(画像を読み込んだ時より10%小さいサイズ)まで縮小することができます。

（→ 次ページに続く）

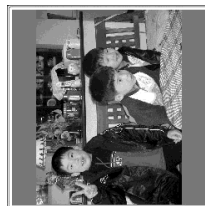
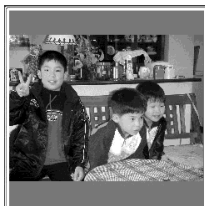
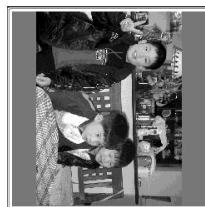
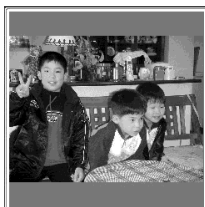
コンテンツエリアをズームする／全体表示に戻す

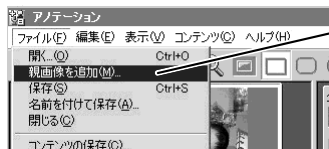
コンテンツエリアが指定されている場合、コンテンツエリアを中心に画像をズームすることができます。

ズーム／全体表示ボタンをクリックします。（または[表示]-[ズーム]をチェックします。）

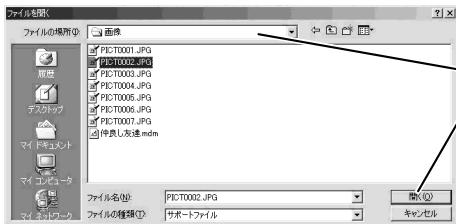
- 指定したコンテンツエリアが親画像表示エリア全体に表示されます。
- 画像を全体表示に戻す場合は、ズーム／全体表示ボタンを再度クリックします。
  （または[表示]-[ズーム]のチェックを解除します。）

画像を回転する

1.左に回転するには[表示]-[回転]-[左90゜回転]、右に回転するには[表示]-[回転]-[右90゜回転]を選択します。

- **それぞれ一回選択するたびに、左または右に90度ずつ画像が回転します。**

左回転

右回転

親画像を追加する

作成・編集中のディマージュメッセンジャーファイルに2枚目の親画像を読み込みます。
親画像を追加したディマージュメッセンジャーファイルの保存については、「ディマージュメッセンジャーファイルを保存する」（P.61）をご参照ください。

1.[ファイル]-[親画像を追加]を選択します。

- **または親画像表示エリアに画像が表示された状態で、メインウィンドウから別の画像を親画像表示エリアへドラッグ＆ドロップします。この場合、すぐに画像表示エリアの右側に親画像が追加されます。**

●「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

2.画像ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

●[ファイルの場所]でフォルダを選択し、表示されたファイル一覧から追加したい画像ファイルを選択します。

●画像が読み込まれ、親画像表示エリアの右側に親画像が追加されます。

●2枚目の親画像を追加した直後に元に戻すボタンをクリック、または[編集]-[元に戻す]を選択すると追加が取り消され、前の状態に戻ります。

親画像にコンテンツをつける

作成・編集中のディマージュメッセンジャーファイルにコンテンツをつけます。画像にコンテンツエリア（赤い枠線）を描き、その位置にコンテンツ（コメント、音声、画像）をつけます。
コンテンツをつけたディマージュメッセンジャーファイルの保存については、「ディマージュメッセンジャーファイルを保存する」（P.61）をご参照ください。

●動画ファイル（MOV）はコンテンツとして使用できません。

コメントをつける

1. 画像の任意の位置からドラッグしてコンテンツをつけるエリアを指定します。

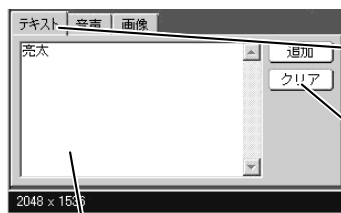
●ドラッグするとコンテンツエリアを示す赤い枠線が表示されます。

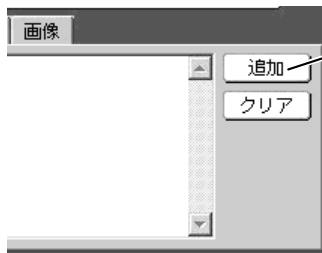
●コンテンツエリア(赤い枠線)の形は、ツールバー上の矩形、角丸四角形、楕円、フリーハンドボタンをクリックして選択できます。
または、メニューバーから[表示]-[コンテンツエリア]を選択し、[矩形]、[角丸四角形]、[楕円]、[フリーハンド]のいずれかをクリックします。

●コンテンツエリアを変更したい場合は、再度ドラッグします。また、「クリア」をクリックしてコンテンツエリアを消去することができます。

※「クリア」を使用した場合、コンテンツ作成エリアで開かれているタブの内容の解除（「テキスト」の場合：入力したテキストの消去、「音声」の場合：音声ファイルの選択解除、「画像」の場合：画像ファイルの選択解除）、およびコンテンツ表示エリアで選択したコンテンツの解除も同時に実行されます。

●画像全体をコンテンツエリアに指定するには、画像を90%表示してから、カーソルを画像の外側からドラッグします。描けるコンテンツエリアの形は矩形のみとなります。

（→ 次ページに続く）

2.コメントを入力します。

- コンテンツ作成エリアの「テキスト」タブをクリックし、テキスト入力エリア内をクリックします。文字カーソル「｜」が表示されたら、テキストを入力します。
- コメントは、最大512文字まで入力できます。
- コメントを入力し直す場合は、「クリア」をクリックしてコンテンツ作成エリアに入力したテキストを消去します。ただし、「クリア」を使用した場合、指定したコンテンツエリアも同時に消去されます。

3.「追加」をクリックします。

・または[コンテンツ]-[追加]を選択します。

- コンテンツ表示エリアにコメントが追加されます。

4.さらにコメントを追加する場合は、手順1-3（P.47-48）を繰り返します。

● 1つの画像には、最大256個のコンテンツをつけることができます。

5.必要に応じて、コメントのフォント設定を変更することができます。フォントの設定を変更する場合は、コンテンツ表示エリアでコメントを選択して、フォントボタンをクリックします。

・または[表示]-[フォント]を選択します。

●「フォント」ダイアログが表示され、フォント名、スタイル、サイズ、色などを設定します。

● 設定後、「OK」をクリックします。

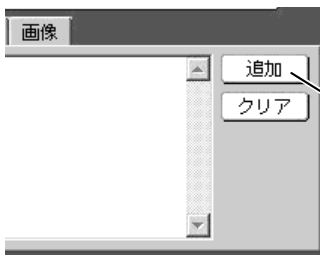
（→ 次ページに続く）

音声をつける

音声を録音・再生する場合は、ご使用のOS環境にてマイク・スピーカーが正常に動作していることが必要です。

1. コメントをつける **の手順１(P.47)と同様の操作をして、コンテンツエリアを指定します。**

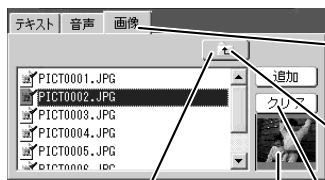
2.音声ファイルを選択します。

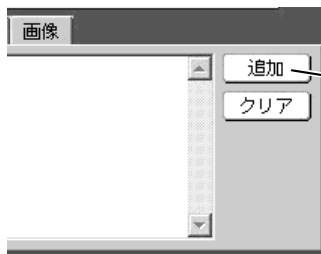
- コンテンツ作成エリアの「音声」タブをクリックし、音声ファイル（*.wav）の一覧が表示されたらコンテンツとして追加する音声ファイルを選択します。
- 追加したい音声ファイルが表示されない場合は、「上へ」ボタンをクリックして、フォルダの一覧を表示します。フォルダ一覧から、追加したい音声ファイルが保存されているフォルダをダブルクリックして、音声ファイルを表示します。
- 音声ファイルを選択し直す場合は、「クリア」をクリックして選択した音声ファイルを解除します。ただし、「クリア」を使用した場合、指定したコンテンツエリアも同時に消去されます。
- 音声ファイルの内容を確認するには、音声ファイルを選択して「再生」をクリックします。
  また、録音機能で音声ファイルを作成することができます。「音声を録音する」（P.54）をご参照ください。

3.「追加」をクリックします。

・または[コンテンツ]-[追加]を選択します。

- コンテンツ表示エリアに音声が追加されます。

画像をつける

1. コメントをつける の手順１(P.47)と同様の操作をして、コンテンツエリアを指定します。

2.画像ファイルを選択します。

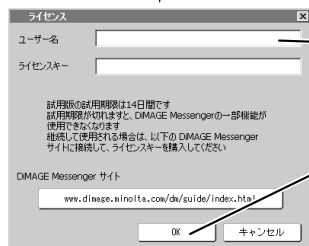
- ●コンテンツ作成エリアの「画像」タブをクリックし、画像ファイル（*.jpg, *.bmp, *.tif）の一覧が表示されたらコンテンツとして追加する画像ファイルを選択します。選択した画像はプレビュー表示で確認できます。
- ●追加したい画像ファイルが表示されない場合は、「上へ」ボタンをクリックして、フォルダの一覧を表示します。フォルダ一覧から、追加したい画像ファイルが保存されているフォルダをダブルクリックして、画像ファイルを表示します。
- ●追加できる画像ファイルのサイズは最大3840×3840ピクセルです。
- ●画像ファイルを選択し直す場合は、「クリア」をクリックして選択した画像ファイルを解除します。ただし、「クリア」を使用した場合、指定したコンテンツエリアも同時に消去されます。

3.「追加」をクリックします。

- ・または[コンテンツ]-[追加]を選択します。
- ●コンテンツ表示エリアに画像が追加されます。

（→ 次ページに続く）

コンテンツの更新日時とユーザー名を表示する

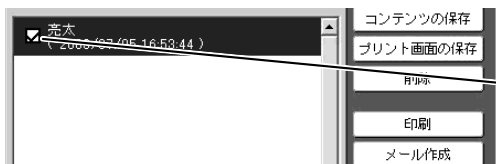
アノテーションした画像に付けた各コンテンツの更新日時とユーザー名を表示します。
なお、表示形式はご使用になるパソコンの設定により異なります。

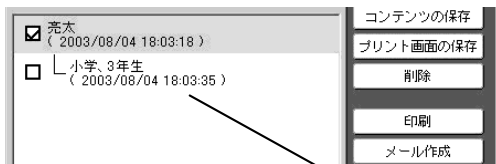
1. メインウィンドウから[ヘルプ]-[ライセンス]を選択します。
   - 「ライセンス」ダイアログが表示されます。
   - ユーザー名を表示する必要がない場合は、手順1と2の操作を省略してください。
2. 表示するユーザー名を入力します。
3. 「OK」をクリックします。

4. アノテーションウィンドウから[表示]-[作成日とユーザー名]を選択します。
   - コンテンツ表示エリアのコンテンツに更新日時とユーザー名が表示されます。

コンテンツに別のコンテンツをつける

既に作成されているコンテンツ（上層）の下に別のコンテンツ（下層）を作成することができます。

作成済みのコメントの内容を編集するとき

既に親画像につけたコメントを編集する場合は、「コンテンツを編集・再生する」（P.55）をご参照ください。

1.上層となるコンテンツのチェックボックスをクリックします。

- チェックボックスにチェックがつきます。

2.「親画像にコンテンツを付ける」の手順2-3（コメント：P.48、音声：P.50、画像：P.51を参照）の操作を行い、下層となるコンテンツを作成します。

- コンテンツエリアは自動的に上層のコンテンツと同じ位置になりますので、「親画像にコンテンツをつける」の手順1（P.47）は必要ありません。
- コメント表示エリアで選択したコンテンツの下に、新しくコンテンツ（下層）が追加されます。
- 最大で8階層のコンテンツを作成することができます。

音声を録音する

録音機能でコンテンツとして使用する音声ファイル（*.wav）を作成します。
音声を録音・再生する場合は、ご使用のOS環境にてマイク・スピーカーが正常に動作していることが必要です。

1.「音声」タブを選択して、「録音」をクリックします。

- 「録音」ダイアログが表示されます。
- 録音できる音声は最長10分です。

2.「録音」ダイアログの「録音」をクリックします。

- 録音が開始します。

3.録音が終了したら、「停止」をクリックします。

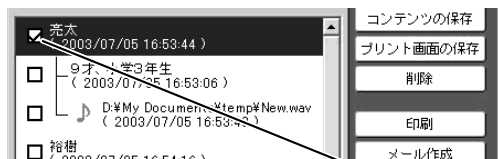
- 録音し直す場合は、再度「録音」をクリックします。

4.「OK」をクリックします。

- 新しい音声ファイルが作成されます。

コンテンツを編集・再生する

作成したコンテンツを編集または再生します。

コメントを編集する

1.編集するコンテンツ（コメント）のチェックボックスをクリックします。

・または編集するコンテンツの行にカーソルを合わせ、右クリックします。この場合、手順2を実行する必要はありません。

●チェックボックスにチェックがつきます。

●コンテンツの選択を解除する場合は、再度クリックするか、別のコンテンツをクリックします。

2.「編集」をクリックします。

●コメント編集ボックスが表示されたら、コメントを編集します。

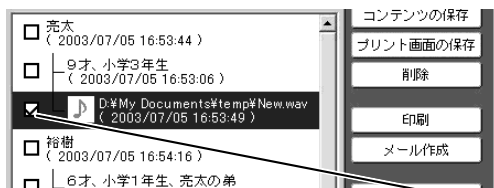
3.コメント編集を終了する場合は、「編集終了」をクリックします。

・または別のコンテンツをクリックします。

●コメント編集ボックスが閉じます。

ディマージュメッセンジャー
ファイルを閲覧・編集・保存する

（→ 次ページに続く）

音声を再生する

1.再生するコンテンツ（音声）のチェックボックスをクリックします。

・または再生するコンテンツの行にカーソルを合わせダブルクリックします。この場合は、手順2を実行する必要はありません。

●チェックボックスにチェックがつきます。

●コンテンツの選択を解除する場合は、チェックボックスを再度クリックするか、別のコンテンツをクリックします。

2.[コンテンツ]-[音声・画像再生]を選択します。

●選択した音声が再生されます。

3.音声再生を終了する場合は、別のコンテンツをクリックします。

画像を表示する

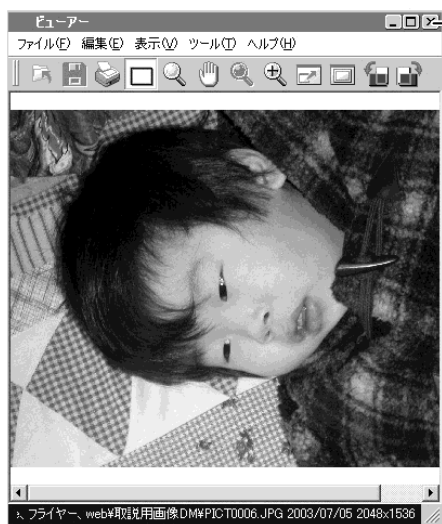
1.表示するコンテンツ（画像）のチェックボックスをクリックします。

・または表示するコンテンツの行にカーソルを合わせダブルクリックします。この場合は、手順2を実行する必要はありません。

- チェックボックスにチェックがつきます。
- コンテンツの選択を解除する場合は、再度クリックするか、別のコンテンツをクリックします。

2.[コンテンツ]-[音声・画像再生]を選択します。

- ビューアーウィンドウが起動し、選択した画像が表示されます。

(→ 次ページに続く)

3.画像表示を終了する場合は、ビューアーウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックします。

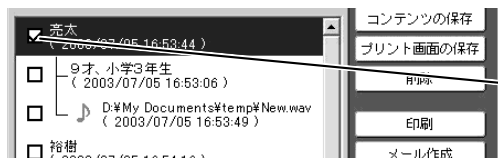
・またはビューアーウィンドウで[ファイル]-[閉じる]を選択します。

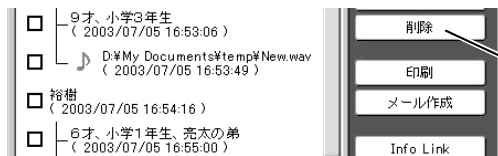
●ビューアーウィンドウが閉じます。

※複数のビューアーウィンドウを同時に起動することはできません。

●ビューアーウィンドウの操作については、「ビューアーウィンドウについて」(P.76)をご参照ください。

コンテンツを削除する

作成したコンテンツを削除します。

1. 削除するコンテンツのチェックボックスをクリックします。

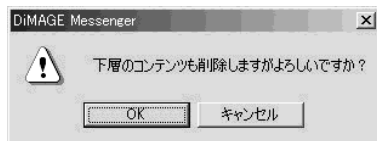
- チェックボックスにチェックがつきます。
- コンテンツの選択を解除する場合は、もう一度クリックするか、別のコンテンツをクリックします。

2.「削除」をクリックします。

・または[コンテンツ]-[削除]を選択します。

- 確認ダイアログが表示されます。

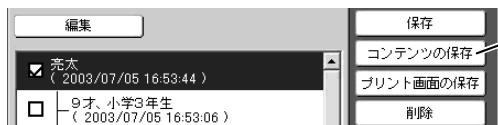
3.「OK」をクリックします。

- コンテンツ表示エリアの一覧から選択したコンテンツが削除されます。

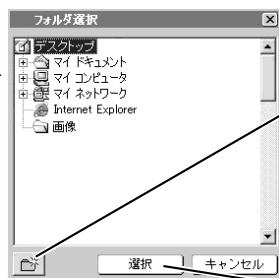
階層になっているコンテンツの削除

選択したコンテンツに別のコンテンツが付属している場合、手順2の実行時、左の確認ダイアログが表示されます。付属のコンテンツも全て削除するかどうか確認する場合は、いったん「キャンセル」をクリックしてください。確認後、全て削除する場合は、再び[コンテンツ]-[削除]を選択して、「OK」をクリックします。

コンテンツを保存する

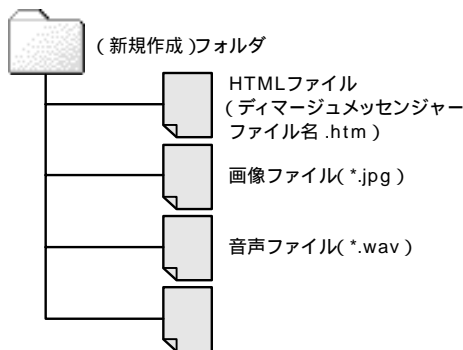
作成・編集したコンテンツをファイルとして保存します。

● ファイルはHTML（Hyper Text Markup Language）形式で保存されます。
● 保存したHTMLファイルは、Microsoft社製のWordやExcelなどで開くことができます。

1.「コンテンツの保存」をクリックします。

・または[ファイル]-[コンテンツの保存]を選択します。

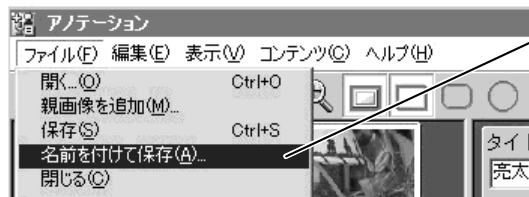
● 「フォルダ選択」ダイアログが表示されます。

2.コンテンツを保存する場所を指定して、新規フォルダ作成ボタンをクリックします。

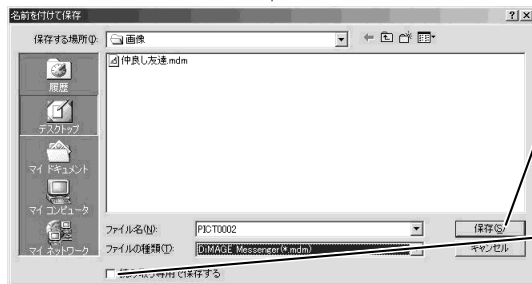
●「新しいフォルダ」が作成されたら、フォルダ名をクリックして、名前を入力します。

3.「選択」をクリックします。

● コンテンツがHTML形式のファイルとして作成したフォルダ内に保存されます。ファイル名は、「ディマージュメッセンジャーファイル名.htm」となります。
● 一度もディマージュメッセンジャーファイルを保存していない場合は「親画像ファイル名.htm」となります。
● 他のコンテンツ（画像、音声ファイル）も同じフォルダに保存されます。

ディマージュメッセンジャーファイルを保存する

作成・編集した親画像とコンテンツをディマージュメッセンジャーファイルとして保存します。

新規保存する

1. [ファイル]-[名前を付けて保存]を選択します。

- 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

2. 保存する場所とファイル名を指定し、「保存」をクリックします。

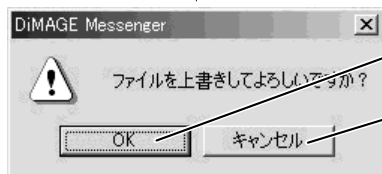
- 「タイトル」の内容が「ファイル名」として表示されますので必要に応じて変更します。
- ディマージュメッセンジャーファイルの拡張子は、「*.mdm」になります。
- 「読み取り専用で保存する」チェックボックスにチェックをつけて保存すると、コンテンツの追加、編集、削除などができなくなります。

（→ 次ページに続く）

既存ファイルを上書きして保存する

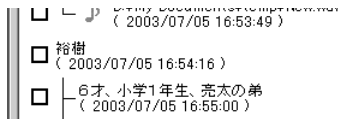
1.「保存」をクリックします。

・または[ファイル]-[保存]を選択します。

●「確認」ダイアログが表示されます。

2.上書きする場合は、「OK」をクリックします。

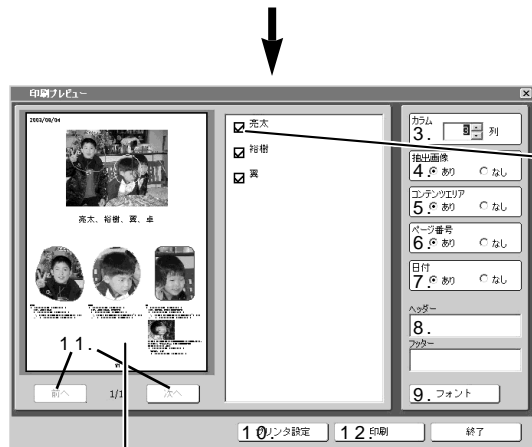
●上書き保存を中止する場合は、「キャンセル」をクリックします。

ディマージュメッセンジャーファイルを印刷する

全体画面、コンテンツエリアの抽出画像、コンテンツをレイアウトして印刷します。

印刷プレビュー

1.「印刷」をクリックします。

・**または[ファイル]-[印刷]を選択します。**

●「印刷プレビュー」ダイアログが表示されます。

2.コンテンツごとに印刷するかどうかを指定します。

●印刷する場合は各コンテンツのチェックボックスにチェックをつけ、印刷しない場合はチェックを外します。ここでの設定は対応する「コンテンツエリアの抽出画像」(手順4)および「コンテンツエリア」（手順5）にも反映されます。

●「印刷プレビュー」画面でレイアウトを確認できます。

3.画像を並べる列数を「カラム」で指定します。

●列数は1～3の範囲で指定できます。

●「印刷プレビュー」画面でレイアウトを確認できます。

4.コンテンツエリアの抽出画像を印刷するかどうかを「抽出画像」で指定します。

●抽出画像を印刷する場合は「あり」を、印刷しない場合は「なし」を選択します。

●「印刷プレビュー」画面でレイアウトを確認できます。

(→ 次ページに続く)

5.コンテンツエリアを印刷するかどうかを「コンテンツエリア」で指定します。

- コンテンツエリアを印刷する場合は「あり」を、印刷しない場合は「なし」を選択します。
- 「印刷プレビュー」画面でレイアウトを確認できます。

6.ページ番号を印刷するかどうかを「ページ番号」で指定します。

- ページ番号を印刷する場合は「あり」を、印刷しない場合は「なし」を選択します。
- ページ数は、「選択ページ／総ページ」の形式で印刷されます。

7.日付を印刷するかどうかを「日付」で指定します。

- 日付を印刷する場合は「あり」を、印刷しない場合は「なし」を選択します。
- 日付は、「yyyy/mm/dd」の形式で印刷されます。

8.必要に応じて「ヘッダー」と「フッター」を入力します。

- 「ヘッダー」で入力した内容がページの上に、「フッター」で入力した内容がページの左下に印刷されます。

9.必要に応じて「フォント」をクリックし、ファイル名と画像情報の印刷に使用するフォントを指定します。

- 「フォント」ダイアログが表示され、フォント名、スタイル、サイズなどを設定できます。
- 設定が終了したら、「OK」をクリックします。

10.必要に応じて「プリンタ設定」をクリックし、印刷設定を行います。

- 「プリンタの設定」ダイアログが表示され、印刷方法、用紙サイズ、印刷の向きなどを設定できます。
- 設定が終了したら、「OK」をクリックします。

11.必要に応じて「前へ」、「次へ」をクリックし、他のページのレイアウトを確認します。

12.「印刷」をクリックします。

- 「印刷」ダイアログが表示され、プリンタ、印刷範囲、印刷部数などを設定できます。
- 印刷を中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

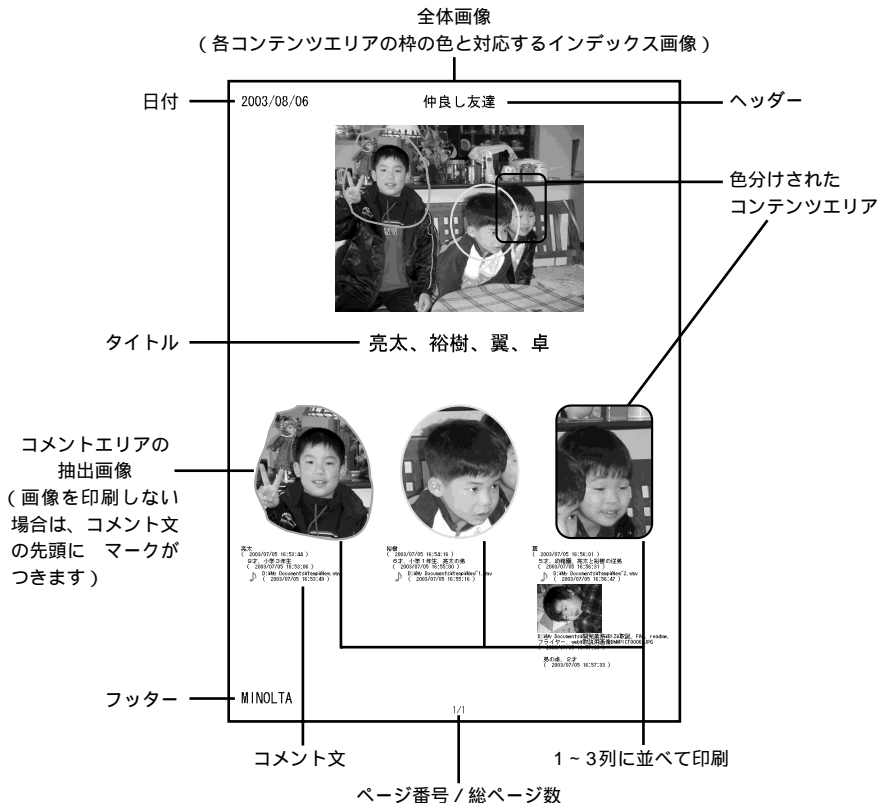
13.「OK」をクリックします。

- 印刷が開始されます。

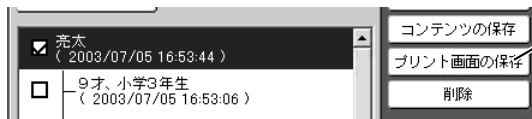
ディマージュメッセンジャー ファイルを閲覧・編集・保存する

(→ 次ページに続く)

印刷例

全体画像
（各コンテンツエリアの枠の色と対応するインデックス画像）
日付
2003/08/06
仲良し友達
ヘッダー
色分けされた
コンテンツエリア
タイトル
亮太、裕樹、翼、卓
コメントエリアの
抽出画像
（画像を印刷しない場合は、コメント文の先頭に■マークがつきます）
フッター
MINOLTA
1/1
コメント文
1〜3列に並べて印刷
ページ番号／総ページ数

ディマージュメッセンジャーファイルのプリント画面を保存する

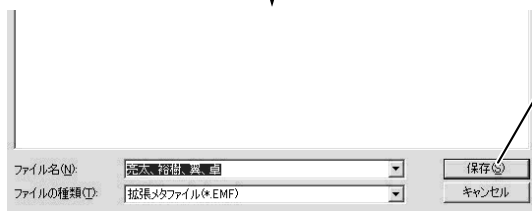
「印刷プレビュー」画面をファイルとして保存します。

- **ファイルはEMF(Enhanced Meta File)形式で保存されます。**
- **保存したEMFファイルは、Microsoft社製のWordやExcelなどで開くことができます。（メニューバーから[挿入]-[図]-[ファイルから]を選択し、ファイルの場所とファイル名を指定して、保存したEMFファイルを開きます。）**

1.「プリント画面の保存」をクリックします。

・または[ファイル]-[プリント画面の保存]を選択します。

- 「印刷プレビュー」ダイアログが表示されます。
- 「印刷プレビュー」での各設定については、「ディマージュメッセンジャーファイルを印刷する」（P.63）をご参照ください。

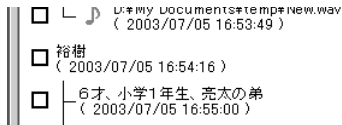
2.「印刷プレビュー」ダイアログの「保存」をクリックします。

- 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

3.保存する場所とファイル名を指定し、「保存」をクリックします。印刷プレビュー画面がEMF形式で保存されます。

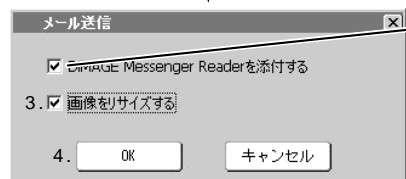
ディマージュメッセンジャーファイルをメールで送る

ディマージュメッセンジャーファイルをメール添付して送信します。

MAPI対応のメールソフト

この機能をご利用されるには、お使いのパソコンにMAPI対応のメールソフト（他のアプリケーションからメール機能を呼び出して利用できるメールソフト）がインストールされている必要があります。DiMAGE Messenger 2.0はMicrosoft社製のOutlook Expressで動作確認しています。操作を実行する前にご確認ください。

1.「メール作成」をクリックします。

・または[ファイル]-[メール作成]を選択します。

- 「メール送信」ダイアログが表示されます。
- MAPI対応メールソフトが見つからない場合は、エラーメッセージダイアログが表示されます。

2.必要に応じて、DiMAGE Messenger Readerを添付します。

- 送信先のパソコンにDiMAGE Messenger 2.0がインストールされていない場合、DiMAGE Messenger Readerを使用して、受信したディマージュメッセンジャーファイルを開きます。
- DiMAGE Messenger Readerで実行できる操作は、ディマージュメッセンジャーファイルの画像表示、画像の拡大・縮小、親画像のコピー、音声再生、印刷、バージョンの表示、Info Link、ヘルプの表示に限られます。

3.必要に応じて、親画像、アノテーション画像をリサイズします。

● 親画像をXGA（1024×768)、アノテーション画像をVGA（640×480）にリサイズします。
● 縦横比が3：4以外の画像をリサイズする場合、親画像はXGA、アノテーション画像はVGAのサイズに収まるように自動的に調整されます。

4.「OK」をクリックします。

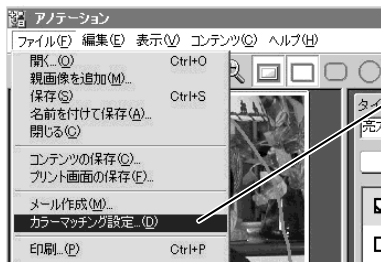
MAPI対応メールソフトのメール作成画面が表示されます。

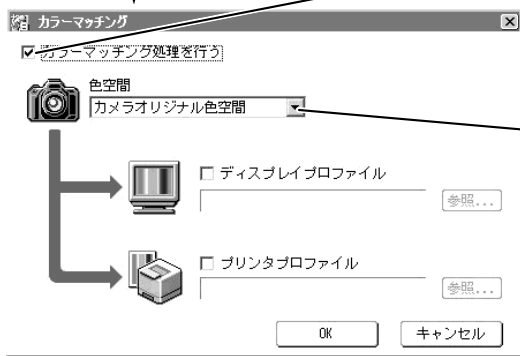
ディマージュメッセンジャーファイルが、添付ファイルとして指定されます。

5.宛先、件名、本文などを入力し、メールソフトの手順に従って送信します。

● 初期の状態では、「件名」には添付したディマージュメッセンジャーファイルの「タイトル」が表示されます。
● メールの送信が完了するまでDiMAGE Messenger 2.0を終了しないでください。メールが正常に送信できない場合があります。
● メール送信については、お使いのメールソフトの使用説明書を併せてご参照ください。

カラーマッチング機能を使う

ディスプレイやプリンタなど出力機器の特性によって、再現される画像の色や階調が異なります。カラーマッチング処理を設定し、環境や出力機器の特性に色を合わせることにより、再現性の高い画像を出力することができます。

1. [ファイル]-[カラーマッチング設定]を選択します。

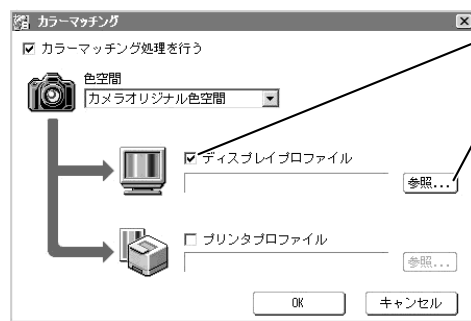
●「カラーマッチング」ダイアログが表示されます。

2.「カラーマッチング処理を行う」チェックボックスにチェックをつけます。

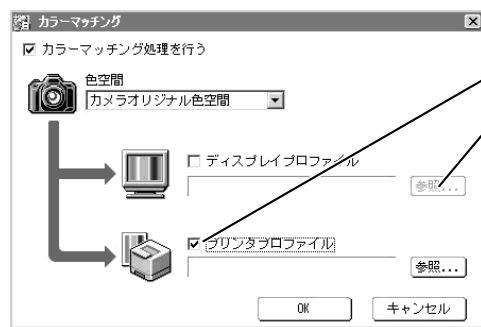
●カラーマッチング処理を行わない場合は、チェックを外します。

3. 使用する「色空間」をリストボックスから選択します。(P.71の表を参照)

色空間名	説 明
カメラオリジナル色空間	カメラ固有の色環境を保持します。
sRGB	Hewlett PackardおよびMicrosoftによって推進された色環境です。 平均的なPCモニターの特徴を反映しているため、インターネットやマルチメディア関連の画像などに広く使用されています。ただし、他の色環境に比べて再現できる彩度領域が狭いため、専門的な作業には不向きです。
Adobe RGB	sRGBより色域が広く、より広範囲におよぶカラーが必要な場合に最適な色環境です。 ただし、CMYKで表現できない印刷には不向きな色が多く含まれています。

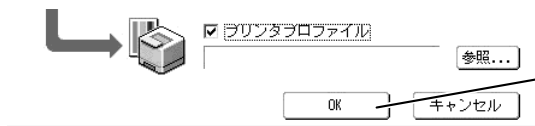
●色空間は，通常[ｓRGB]を選択してください。
（ミノルタ製のデジタルカメラではDiMAGE Xシリーズ、Ｆシリーズ）
カメラ固有の色を好まれる場合は、「カメラオリジナル色空間」を選択してください。（ミノルタ製のデジタルカメラではDiMAGE 7/5）
※ただし、DiMAGE 7Hi／A1の画像色設定で「Adobe RGB」を指定して撮影した画像を使用する場合は、「Adobe RGB」を選択してください。

（→ 次ページに続く）

4.ディスプレイの特性に色を合わせる場合は、「ディスプレイプロファイル」チェックボックスにチェックをつけ、「参照」をクリックしてプロファイルを指定します。

- 「ファイルを開く」ダイアログが表示されたら、プロファイルを選択し、「開く」をクリックします。

5.プリンタの特性に色を合わせる場合は、「プリンタプロファイル」チェックボックスにチェックをつけ、「参照」をクリックしてプロファイルを指定します。

- 「ファイルを開く」ダイアログが表示されたら、プロファイルを選択し、「開く」をクリックします。

ICCプロファイルは、通常以下のフォルダに収められています。

Windows®XPの場合　：[Windows]-[system32]-[spool]-[drivers]-[color]
Windows®2000の場合　：[WINNT]-[system32]-[spool]-[drivers]-[color]
Windows®Me/98SEの場合　：[Windows]-[System]-[Color]

6.「OK」をクリックします。

（→ 次ページに続く）

ICCプロファイルについて

ディスプレイ／プリンタのICCプロファイルとは、そのディスプレイ／プリンタの色再現特性が記述されているファイルのことで、ディスプレイ／プリンタメーカーから提供されます。インターネット上のディスプレイ／プリンタメーカーのWebサイトから入手（ダウンロード）できる場合もあります。ICCプロファイルのインストール方法については、お使いのディスプレイ／プリンタの使用説明書をご参照ください。カラーのICCプロファイルは、市販のプロファイル作成ツールを用いて作成する事もできます。また、Adobe　Photoshop　Elementsなどに付属の「Adobe　Gamma」を用いて作成する事もできます。アプリケーションのインストール時に、以下のICCプロファイルも同時にインストールされます。

● ディスプレイ用プロファイル

sRGB_Monitor.icc	sRGBモニター用プロファイル
Std_Monitor.icc	標準モニター用プロファイル*

● プリンタ用プロファイル

sRGB_Printer.icc	sRGBプリンタ用プロファイル
Std_DyeSublimation.icc	昇華型プリンタ用プロファイル*
Std_InkJet.icc	インクジェットプリンタ用プロファイル*
Std_SilverHalide.icc	銀塩プリンタ用プロファイル*
Std_ColorLBP.icc	カラーレーザープリンタ用プロファイル
DL2200RGB.icm	magicolor 2200 DeskLaser用プロファイル
dl6100rgb.icm	magicolor 6100 DeskLaser用プロファイル

＊ 印の付いたプロファイルは、主な製品の平均的な特性を記述したものです。したがって、お使いのディスプレイやプリンタに適合するとは限りませんのでご注意ください。

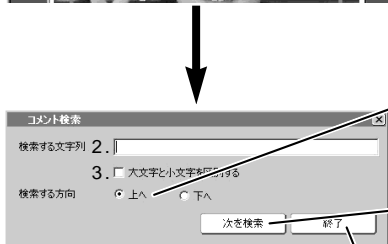
アノテーションウィンドウでコメントを検索する

コンテンツ表示エリアに一覧表示されているコンテンツに含まれているコメントの文字列とアノテーションした日付、ユーザー名を文字列検索します。
該当する文字列が検索された場合、その文字列が選択状態になります。

1.[編集]-[コメント検索]を選択します。

●「検索」ダイアログが表示されます。

2.「検索する文字列」に検索する文字列を入力します。

3.必要に応じて、「大文字と小文字を区別する」チェックボックスにチェックをつけます。

4.「検索する方向」をラジオボタンで指定します。

●選択したコンテンツから上方に検索する場合は[上]、下方に検索する場合は[下]を指定します。

5.「次を検索」をクリックします。

●該当する文字列が検索されると、その文字列が選択状態になります。さらに検索を進める場合は、再度「次を検索」をクリックします。

●該当する文字列が検索されなかった場合、「検索を完了しましたが、何も見つかりませんでした。」というメッセージが表示されます。

6.コメント検索を終了する場合は、[終了]をクリックします。

ビューアーウィンドウについて

ビューアーウィンドウとは、アノテーションウィンドウで画像コンテンツを再生したとき（P.57）に起動する画面のことで、主に画像ファイルの閲覧、編集、保存などに使用します。ここでは、ビューアーウィンドウの各部の名称と機能、選択できるメニューとツールについて説明しています。

メニューバー
クリックすると、それぞれのメニューのプルダウンリストを表示します。

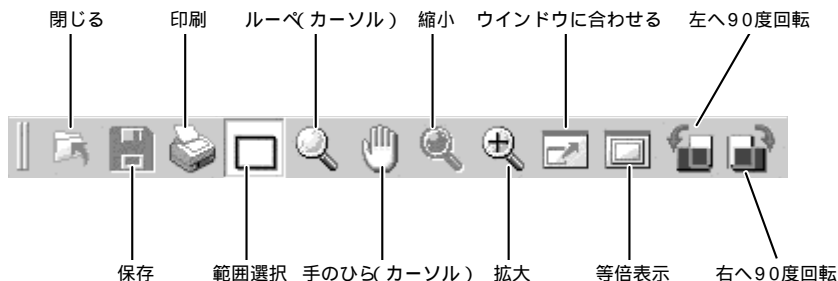
ツールバー
メニュー内の主な機能をボタン操作で実行します。ボタン上にカーソルを置くと機能名が表示されます。

画像サイズがウィンドウよりも大きい場合に、上下にスクロールできます。

ステータスバー
表示している画像のファイル名、画像サイズ、日付を表示します。

画像サイズがウィンドウよりも大きい場合に、左右にスクロールできます。

枠をドラッグするとウィンドウのサイズを変更できます。

ツールバーの説明

メニューとツール

ビューアーウィンドウでは、次のような操作を実行できます。

●ファイル

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
保存	ビューアーウィンドウに表示している画像を上書き保存します。→P.86
名前を付けて保存	ビューアーウィンドウに表示している画像を新規保存します。→P.86
閉じる	ビューアーウィンドウを閉じます。
印刷	ビューアーウィンドウに表示している画像を印刷します。→P.84
アプリケーションの終了	DiMAGE Messenger 2.0を終了します。→P.9

（→ 次ページに続く）

●編集

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
コピー	ビューアーウィンドウに表示している画像をクリップボードにコピーにします。
全て選択	画像全体を選択します。

●表示

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
ツールバー／ステータスバー	ビューアーウィンドウのレイアウトを変更できます。チェックを付けた項目がビューアーウィンドウ上に表示されます。
カーソル	リストボックスからカーソルの種類を選択します。 ルーペカーソル　：クリックすると、画像を拡大します。*<Shift>*キーを押しながらクリックすると、画像を縮小します。→P.83 手のひらカーソル　：画像をドラッグして、表示する範囲を移動できます。おもに、画像を拡大表示したときに使用します。→P.81 範囲選択カーソル　：画像をドラッグして矩形の範囲を選択します。選択した領域の画像を、[編集]-[コピー]でコピーします。

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
ズーム	リストボックスから表示倍率を選択します。→P.83
	拡大　：画像を拡大します。
	縮小　：画像を縮小します。
	ウィンドウに合わせる　：表示倍率をビューアーウィンドウのサイズに合わせます。
	等倍表示する　：画像を等倍（100%）で表示します。
	倍率設定　：25、50、75、100、200、400%から倍率を指定して、画像を拡大／縮小します。

●ツール

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
回転	右90°回転　：画像を右に90度回転します。→P.82
	左90°回転　：画像を左に90度回転します。→P.82

●ヘルプ

メニュー／対応ツールボタン	説　　明
ヘルプ	ヘルプファイルを表示します。
バージョン情報	ソフトウェアバージョン情報を表示します。

画像コンテンツをビューアーウィンドウで表示する

アノテーションウィンドウのコンテンツ表示エリアから選択した画像コンテンツをビューアーウィンドウで表示します。

1. アノテーションウィンドウのコンテンツ表示エリアから、ビューアーウィンドウで表示したい画像コンテンツのチェックボックスをクリックします。

・または画像コンテンツの行にカーソルを合わせダブルクリックします。この場合は、手順2を実行する必要はありません。

- チェックボックスにチェックがつきます。
- コンテンツの選択を解除する場合は、再度クリックするか、別のコンテンツをクリックします。

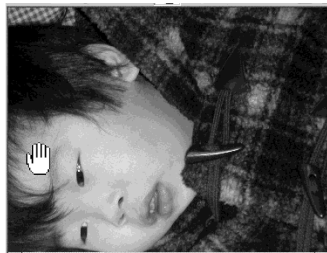
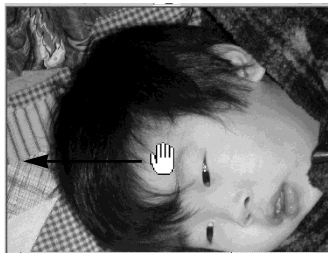
2. [コンテンツ]-[音声・画像再生]を選択します。

- ビューアーウィンドウが起動し、選択した画像が表示されます。

画像の表示位置を変更する

画像を拡大表示したとき、ビューアーウィンドウ内で画像のすべてを表示しきれない場合があります。
手のひらカーソルを使うと、倍率はそのままで、表示する位置を変更できます。

1. 手のひらカーソルボタンをクリックします。
   - または[表示]-[カーソル]-[手のひらカーソル]を選択します。

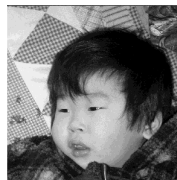
2. 手のひらカーソルで画像をドラッグします。

3. 目的の位置が表示されたら、マウスボタンを離します。

画像を回転する

ビューアーウィンドウに表示されている画像を回転します。

右回転

右回転ボタンをクリックします。

- **または[ツール]-[回転]-[右90度回転]を選択します。**

●画像が右（時計回り）に90度回転します。

左回転

左回転ボタンをクリックします。

- **または[ツール]-[回転]-[左90度回転]を選択します。**

●画像が左（反時計回り）に90度回転します。

画像を拡大・縮小する

ビューアーウィンドウに表示されている画像を拡大・縮小します。

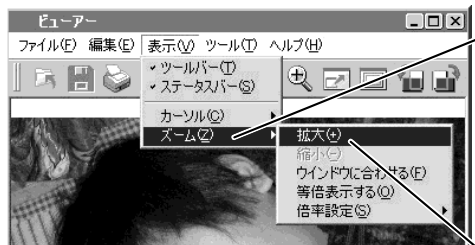
ルーペカーソルで拡大・縮小する

1. ルーペカーソルボタンをクリックします。

・ **または[表示]-[カーソル]-[ルーペカーソル]を選択します。**

2. 拡大する場合：画像をクリックします。
縮小する場合：<*Shift*>キーを押しながら、画像をクリックします。

● 拡大・縮小の倍率は、「倍率設定」で選択できる倍率ごとに上下します。

ズームメニューで拡大・縮小する

1. [表示]-[ズーム]を選択します。

● 以下のリストボックスが表示されます。
拡大：１つ上の倍率に拡大する。
縮小：1つ下の倍率に縮小する。
ウインドウに合わせる：表示倍率をビューアーウィンドウのサイズに合わせる。
等倍表示する：等倍（100%）で表示する。
倍率設定：指定した倍率で表示する。

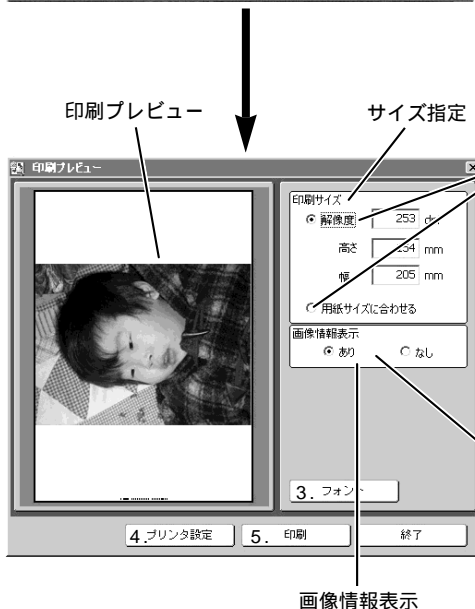
2. リストボックスからメニューを選択して、画像の表示倍率を変更します。

画像を印刷する

ビューアーウィンドウに表示されている画像を印刷します。

1.印刷ボタンをクリックします。

・または[ファイル]-[印刷]を選択します。

●「印刷プレビュー」画面が表示されます。

2.画像の印刷サイズおよび画像情報表示を指定します。

●「解像度」「用紙サイズに合わせる」いずれかのラジオボタンをオンにして、印刷サイズを設定します。
解像度：出力解像度をdpi単位で入力します。入力すると、「幅」と「高さ」も入力した解像度に合わせて自動的に設定されます。あるいは、「幅」または「高さ」をmm単位で入力します。片方を入力すると、もう一方の数値と「解像度」が自動的に設定されます。
用紙サイズに合わせる：印刷サイズを用紙のサイズに自動的に合わせます。

●「画像情報表示」を「あり」に設定すると、ファイル名、ファイル作成日、画像サイズが出力紙の下側に印刷されます。

3.必要に応じて「フォント」をクリックし、画像情報の印刷に使用するフォントを指定します。

- 「フォント」ダイアログが表示され、フォント名、スタイル、サイズなどを設定できます。
- 設定が終了したら、「OK」をクリックします。

4. 必要に応じて[プリンタ設定]をクリックし、印刷設定を行います。

- 「プリンタの設定」ダイアログが表示され、プリンタ、用紙、印刷の向きなどを設定できます。
- 設定が終了したら、「OK」をクリックします。

5.「印刷」をクリックします。

- 「印刷」ダイアログが表示され、プリンタ、印刷範囲、印刷部数などを設定できます。
- 印刷を中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

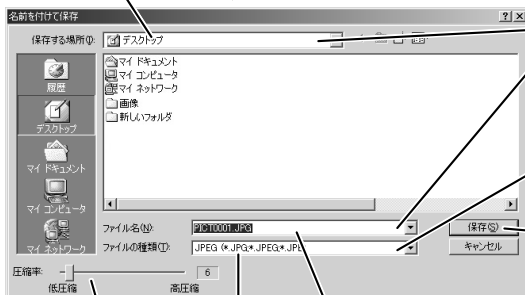
6.[OK]をクリックします。

- 印刷が開始されます。

画像を保存する

ビューアーウィンドウに表示されている画像を新規保存します。

1. [ファイル]-[名前を付けて保存]を選択します。

●上書き保存する場合は、上書き保存ボタンをクリックします。

2. 保存する場所とファイル名を指定します。

3. 保存するファイル形式を選択します。

4. [保存]をクリックして保存します。

[ファイルの種類] にJPEGを選んだ場合は、圧縮率のスライドバーで、1(低圧縮・ファイルサイズ大)～100(高圧縮・ファイルサイズ小)を選択します。

対応ファイルの一覧

対応しているファイルの形式と種類は以下の通りです。

ファイル形式（拡張子）	対応しているファイルの種類	メインウィンドウでのサムネイル表示	アノテーションウィンドウでの表示・再生	ビューアーウィンドウでの表示・再生	左記ファイル形式での保存
JPEG（*.JPG,*.JPE）	・Exif2.1Print準拠 ・JFIF（24bitフルカラー）	○	○	○	○
TIFF（*.TIF）	・Exif2.1Print準拠 ・非圧縮RGB 24bit	○	○	○	○
BMP（*.BMP）	フルカラー24bit	○	○	○	○
MOV（*.MOV）	QuickTimeで読み込み可能なMOVファイル	△[1]	×	×	×
WAV（*.WAV）		△[2]（音アイコン）	○	×	×
MDM（*.MDM）		○	○	×	○

○ ：可　　×：不可
△[1]：システムで関連付けされているアプリケーションで再生可（アプリケーションが起動します）
△[2]：システムで関連付けされているアプリケーションで再生可（アプリケーションは起動されません）

対応ファイルに関しては、当社製デジタルカメラ（DiMAGE 7以降の機種）で撮影したExifファイルで確認しています。他社製デジタルカメラで撮影したファイルや、他のアプリケーションで加工し、保存したファイルは開くことができない場合があります。

ユーザーサポートについて

本ソフトウェアをご購入いただいたお客様へ

本ソフトウェアについて何か問題が生じたときは、裏表紙記載のフォトサポートセンターにお問い合わせください。以下の情報をお手元にご用意いただけますと、問題解決の一助になります。

◎パーソナルコンピュータの種類
（IBM-PC/AT互換機 等）
◎パーソナルコンピュータの型番（名称）
（VAIO、DynaBook、LaVie 等）
◎オペレーティングシステム（OS）の種類とバージョン
（Windows®XP Home Edition 等）
◎メモリ容量
（実装メモリ容量）
◎本ソフトウェアインストール後のハードディスク空き容量
◎接続している周辺機器
◎本ソフトウェアのバージョン（[ヘルプ]-[バージョン情報]でご確認ください）
◎問題発生の頻度
◎再現性
◎現象
（どんな状況で、どのような操作をして、どのような症状が発生したか、できるだけ具体的に）

使用環境等についての最新の互換性情報については、弊社フォトイメージングのホームページ http://www.dimagemessenger.com もご参照ください。

ミノルタ株式会社

ホームページ

個々の製品の互換性情報や最新版ドライバソフトウェアの提供、よくある質問（FAQ）とその回答などのサポート情報については、以下フォトイメージングのホームページをご覧ください。
http://www.photo.minolta.co.jp/

弊社デジタル製品の商品情報については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.dimage.minolta.co.jp/

DiMAGE Messengerに関する情報は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.dimagemessenger.com

フォトサポートセンター

弊社製品のカメラ、交換レンズ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、露出計など写真や画像に関わる製品の機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

ナビダイヤル　0570-007111
ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

TEL　03-5351-9410
携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。

FAX　03-3356-6303

受付時間　10:00～18:00（日・祝日定休）

9224-7320-20　AB-A309